

メガソーラー発電開始

いちき串木野 一部設備94基分



西薩クリーンサンセット事業協同組合の屋根に設置された太陽光発電設備

＝1日、いちき串木野市西薩町

再生可能エネルギーの「固定価格買取取り制度」がスタートした1日、いちき串木野市の「合同会社さつま自然エネルギー」(濱田 然エネルギー)が、同市の西薩中核工業団地の工場屋根に取り付けた太陽光発電の一部設備で発電・売電を開始した。

同日発電を始めたのは、焼酎かす処理施設「西薩クリーンサンセット事業協同組合」の屋根に設置した出力94・9路の設備(太陽光パネル392枚)。記

念式典では、松下忠洋郵政・金融担当相や田畑誠一市長らが祝辞を述べ、同市立荒川小学校の児童が「荒川太鼓」を披露した。

2012年(平成24年)7月2日 月曜日

メガソーラー九州でも稼働

買い取り開始

自然エネルギーによる電力の固定価格買取取り制度が始まった1日、九州では新たに二つのメガソーラー(大規模太陽光発電所)が動き始めた。この制度で電気を「売りたい」という九州経済産業局への申し込みは6月末までに24件。15件が認定され、順次稼働する。▼3面参照

一部が完成し、送電を始めた。完成したのは太陽光発電パネル392枚分、出力は約100キロワット。将来は工業団地内の工場、市内の事業所や一般家庭の屋根などで計約3400キロワットを発電する計画だ。

太陽光発電 一部で開始



西薩クリーンサンセット事業協同組合の工場の屋根に取り付けられた太陽光発電パネル

太陽光など再生可能エネルギーの固定価格買取取り制度が1日始まった。九州では住宅設備の整備を追い風に再生エネルギーが急拡大しそうだ。

「制度」が始まった1日、いちき串木野市の太陽光発電合同会社「さつま自然エネルギー」は、同市西薩中核工業団地内にある事業所で部分的に発電をスタートした。発電を始めたのは、西薩クリーンサンセット事業協同組合の工場の屋根に設置した太陽光パネル392枚。出力約95キロワットの発電を行う。この日は、同組合で関係者約150人が出席して記念式典が開かれ、子どもたちと一緒に送電開始のスイッチを押して祝った。

再生エネ買い取り制開始

太陽光や風力など再生可能エネルギーの普及を促す「固定価格買取取り制度」が1日始まった。九州では住宅設備の整備を追い風に再生エネルギーが急拡大しそうだ。

メガソーラー

事業者	出力(キロワット)	建設地	稼働予定時期
芝浦グループホールディングス	31,300	福岡県嘉麻市、みやま市など4カ所	2012年7月～
さつま自然エネルギー(濱田酒造など)	3,400	鹿児島県いちき串木野市	2012年7月～
大和電機	1,000	鹿児島県日置市	2012年7月～
西部ガス	3,000	北九州市、大牟田市など3カ所	2012年秋～
南国殖産	4,400	鹿児島県薩摩川内市など3カ所	2012年10月～
スカイ・ソーラー・ジャパン(中国系)	1,955	熊本県宇土市	2012年12月
JR九州	2,000	宮崎県都城市	2013年3月
九州電力	13,000	長崎県大村市	2013年度中
九州メガソーラー(地元繊維会社など)	10,000	大分県国東市	2013年10月
京セラ・IHIなど	70,000	鹿児島市	2013年秋
※鹿児島県小水力利用推進協議会	24,000	鹿児島県内各地で約40カ所	2013年～

自然エネ買い取り開始「商機到来」

毎日新聞

メガソーラー初送電

いちき串木野市 工業団地で開始式

再生可能エネルギーの固定価格買取取り制度がスタートした1日、いちき串木野市の西薩中核工業団地で、この太陽光発電システム

リサイクル工場の屋根に取り付けられたソーラーパネル



式典で合同会社「さつま自然エネルギー」の濱田総一郎代表は「東日本大震災などの国難に

工業団地に太陽光

の工業団地で、約10社の工場の屋根に出力計約2300キロワットの太陽光発電システムを設ける事業を合同で進めている。他の事業所や家庭にも普及させ、九州電力に売電を予定だ。「まちぐるみで太陽光発電を導入すれば、環境配慮のアピールにもなる。まちの活性化につなげたい」



「日本一、環境負荷の少ない工業団地にしたい」と語るのは酒類販売パスポート(川崎市)の浜田総一郎社長(57)。鹿児島県いちき串木野市